



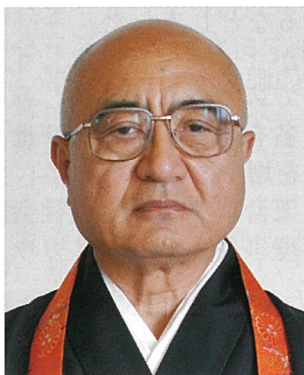
天台スカウト・ニュース

No.1 2

発行元：天台宗スカウト連合協議会 滋賀県大津市坂本4-6-2 天台宗務庁内
ホームページアドレス：<http://www.tendai-scout.jp>

発行日：平成31年1月1日

ご 挨 拶



理事長：源田俊昭

新春を壽ぎ、謹んで新年のご挨拶申し上げます。平成の元号も、わずか数ヶ月と思うと寂寥感ございますが、また新たな希望や夢が湧いてきます。昨年は気候変動により猛暑や台風による自然災害が例年になく多発した年でした。被災に見舞われた皆様に心よりのお見舞いを申し上げます。

さてボーイスカウト活動では、昨年は能登半島の先端、珠洲市において『第17回日本スカウトジャンボリー』が8月4日から5泊6日で『冒険～能登のチカラ未来へ～』をテーマとして、日本の未来を担うスカウト達により猛暑の内、珠洲市の人口を上回る1万3000人のスカウトや指導者が全国より結集し開催されました。未来を担う凛々しいスカウト達に感動を覚える毎日でありました。天台宗スカウト連合協議会では、天台宗ブースを開き、一隅運動のPRや写経道場の開設、仏さまになろう等のプログラムを会員有志の奉仕により展開され、有意義な大会でありました。

宗内におきましては、伝教大師1200年大遠忌を控え、祖山比叡山において全国の天台スカウト達が結集し、スカウト法要を企画しております。伝教大師のお言葉に「我がために仏を作ることなかれ、我がために経を写すことなかれ、我が志を述べよ」と諭されております。少子高齢化のなか、100歳時代を囁かれている昨今、「我が志を述べよ」の遺訓を信条とし、スカウト達とスカウト道を歩む覚悟でございます。



※写真提供 ボーイスカウト日本連盟

第17回日本スカウトジャンボリー特集

日時：平成30年8月4日～8月10日 会場：石川県珠洲市 りふれっしゅ村鉢ヶ崎

平成30年8月4日（土）から8月10日（金）の日程で、石川県珠洲市りふれっしゅ村鉢ヶ崎を会場に、第17回日本スカウトジャンボリーが開催されました。

日本スカウトジャンボリーは4年に1回行われており、期間中、国内外から約13,000人が参加しました。

同ジャンボリーでは、信仰奨励を目的とした各宗教・宗派のパビリオンが設けられ、天台宗スカウト連合協議会も天台パビリオンをオープンしました。同パビリオンでは宗祖伝教大師の教えや、総本山である比叡山延暦寺の歴史や修行を写真パネルを用いて紹介しました。その他にも薬師三尊像を安置した礼拝施設を設けて、スカウト達に礼拝作法を指導するなどしました。

また来場者への記念品としてエコバッグを配布し、エコバッグに各々が「一隅を照らす」、「忘己利他」などの言葉を筆で書いたり、用意されたスタンプを押すなどしてスカウト達は楽しみながら天台の教えに触れていました。天台パビリオンには期間中に700名を超える日本及び世界のスカウトが来場し、様々な体験を通じて天台宗・延暦寺について知見を増やしました。

期間中の8月7日には会場内アリーナにおいて、天台宗宗教儀礼を、天台宗参務林光俊社会部長を導師に開催し多数のスカウトが一同に会しました。法楽の後、源田理事長から天台スカウト達へ天台スカウトであることに誇りをもってほしいと激励がありました。

閉会式では次の開催地が東京であることが発表され、7日間にわたる日程が終了しました。

宗教儀礼



天台ブース



第34期 天台宗仏教章第二教程講習会 開催報告

日時：平成30年3月26日～28日 会場：延暦寺居士林

平成30年3月26日（月）から28日（水）の2泊3日の日程で、比叡山延暦寺居士林を会場に、天台宗仏教章第二教程講習会が開催されました。第34期となる今回は、全国より合計39名のスカウトが参加しました。講習会では天台宗の教義や伝教大師の教え、仏教讃歌の他、通常の居士林研修と同様に、朝夕の勤行や座禅止観、食事作法、最終日には回峰行の実習が行われました。

1日目は、『天台宗について、天台宗の教義』と『家庭勤行と仏壇の荘厳』の二つの講義が行われました。

2日目は、釈迦堂にて座禅止観と朝座勤行を行い、根本中堂の朝事に随喜。朝食後には映画『ブッダ』視聴と『伝教大師の伝記』の講義が行われました。午後は横川を中心に諸堂巡拝を行い、居士林に帰着後は『仏歌による勤行・仏教讃歌』の講義が行われました。

最終日は午前3時より回峰行に出発し、約六時間をかけて三塔巡拝を行いました。最後の講義は『第三教程のアプローチ』と題し、今後の活動に、講習会での体験をどのように活かすのかについて講義が行われました。

普段の生活とは異なる居士林での生活、食事作法に最初は緊張していた参加者も、徐々に緊張がほぐれた様子で、閉講式では上級班長をつとめた渡邊大介君より「この講習会での体験は、他のスカウトに対してアドバンテージになる。この経験を無駄にしないようにスカウト活動に励む。」と話がありました。

講習会終了後、奉仕活動など3ヶ月以上の実践を行なったスカウトには、ボーイスカウト日本連盟より「仏教章」が授与されます。



△講義の様子



△釈迦堂での座禅止観実習



△食事作法の体験



△研修生による勤行



△仏教讃歌・歌唱指導の様子



△午前3時から始まる回峰行



△上級班長への記念品の贈呈



△閉講式の様子

第35期天台宗仏教章第2教程講習会開催のお知らせ

日 時：平成31年3月25日（月）～3月27日（水） 会 場：延暦寺会館

【参加資格】

1. 登録完了しており、第2教程申込時に中学生以上のボーイ・ベンチャー・ローバースカウト、ガールスカウトはレンジャー以上
2. 次の4項のうち一つ以上をみたすもの
 - (1) 天台宗の教えに篤い信仰の心を持つスカウト
 - (2) 天台宗寺院が育成する団に所属するスカウト
 - (3) 家の宗派が天台宗であるスカウト
 - (4) 天台宗僧侶の指導を受けたスカウト
3. 第1教程修了者（ガールもこれに準ずる）

※平成31年1月下旬にホームページと天台各団宛にご案内します。

※平成30年9月の台風21号により、居士林が大きな被害を受けたため、本年度は延暦寺会館での開催となります。

倉敷第14団発団40周年記念式典

於：水嶋寺

平成30年9月16日（日）倉敷第14団（天台第15団）の発団40周年記念式典が団本部である水嶋寺において執り行われました。記念式典には岡山県連盟理事長をはじめ、多数の参加者の中執り行われました。式典中には優秀スカウトの表彰もありました。またポイントラリーや参加者全員でのバーベキューを行い楽しいひとときを過ごしました。



△神原彰仁団委員長の挨拶



△優秀スカウトの表彰



△参加者全員でのバーベキュー

天台宗スカウト連合協議会役員名簿

任期：平成30年～平成32年

理事長：	源田 俊昭（足利1団）
副理事長：	林 敬順（稲沢9団）
常任理事：	吉川 廣隆（村岡1団）
	：小鴨 覚俊（大津12団）
	：山本 健二（大津12団）
	：當麻 泰（東京支部第150団）
理事：	葉上 彰保（浅口3団）
	：神原 彰仁（倉敷14団）
	：小堀 光實（大津12団）
	：幹 敬盛（加古川2団）
	：山崎 英夫（秦野1団）
	：多田 孝元（秦野1団）
	：赤松久美子（滋賀14団）
相談役：	寺本 亮洞（東久留米2団）
顧問：	幹 榮盛（加古川2団）

スカウト活動（教育）とは？

1908年にイギリスのバーデン・パウエル卿によって始められた「よき市民」を育てるための青少年教育活動のこと。今日、全世界156カ国2,500万人のスカウトがいます。その目的は、本来斥候術（スカウティング）であり、相手を偵察するには「知恵」「知識」「技術」「勇気」「観察」「協同」などが必要で、それらを大自然の中で学ばせますが、そのとき人間の力が及ばない世界があることを知り、宗教の存在意義を知ることになります。そこで、スカウト教育では、スカウトたちに「明確な信仰をもつ」ことがすすめられています。したがってスカウト運動は、多くの社会教育団体があるなかで「宗教(信仰)」をベースにした唯一の社会教育運動であるといえます。